

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

企業間の連携

当社の主な取引先は、全国の電力会社およびそのグループ企業、ならびに電気・ガス・水道のスマートメータデータを活用するハウスメーカーや見守り・介護サービス事業者です。

当社は、これらのお客様が提供する各種サービスにおけるBCP対策の一環として、システムの導入および運用支援を行います。

a. 電力の安全供給に関わるサービス

災害発生時における電力供給状況の把握や、停電からの復旧時における安全対策において、当社のシステムが活用される計画です。

そのため、全システムとの連携を維持し、継続的なサービス提供が可能となる体制を整備します。

・電力を活用した見守りサービス

電力使用状況をもとに、高齢者等の安否確認を行う見守りサービスの提供が検討されています。災害発生時においても迅速なシステム復旧が求められるため、万全の体制を構築します。

b. IT実装支援

・個人情報データベースの崩壊回避

当社は各種サービスの提供にあたり、個人情報を取り扱っています。

災害やテロ等の発生時においても、情報の毀損・消失・漏えいを防止するための対策を講じます。

また、データベースの適切な設定やシステムごとのセキュリティ対策、ユーザーインターフェースにおける多要素認証の導入など、コスト対効果を踏まえた最適な対策を実施します。

さらに、セキュリティ人材の確保・育成及びセキュリティ体制の強化を計画的に推進します。

c. グリーン化の取組

・電力の安全供給に関わるサービス

当社のシステムは、電力供給状況の可視化および効率的な運用を支援するものであり、お客様のグリーン化推進に寄与するものです。

d. BCP/事業継続

当社は、お客様の事業継続計画（BCP）を参考にしながら、自社のBCPを策定するとともに、お客様からの助言を受けながら断続的に改善を図ります。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

当社は、直接取引先にとどまらず、その先の取引先においても適切な価格転嫁が可能となるよう、システム構築および保守費用の根拠を見える化して提示します。

また、その内容をサプライチェーン全体に周知するため、積極的な情報発信を行います。

さらに、サプライチェーン全体の共存共栄の実現に向け、パートナーシップ構築宣言の普及にも努めます。加えて大企業間取引も含めた電子記録債権への移行にも取り組みます。

2026年6月2日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社エクサ

企業名

代表取締役 楠本 圭祐

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。